

| |
|------|
| 受験番号 |
| |

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 28 年 2 月 16 日 午後用

第 67 回 獣 医 師 国 家 試 験

必 須 問 題

注 意 事 項

1. 問題数は、50 問、解答時間は 50 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを 1 つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1 問につき 2 つ以上マークした場合には、そのうちの 1 つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問51 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

51 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうち E 3 ☑を横線で、
51 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

(注意) 本冊子掲載の図表は、著作権保有者に無断で、
複製・販売することはできません。

問1 動物福祉の国際的基準である「5つの自由（5R）」に含まれないのはどれか。

1. 飢えと渇きからの自由
2. 不快からの自由
3. 痛み、傷害、病気からの自由
4. 恐怖や抑圧からの自由
5. 死からの自由

問2 動物福祉の説明として最も適切なのはどれか。

1. 動物の殺処分を行わないようにする。
2. 動物を人間の福祉向上のために活用する。
3. 動物の利用を認めながら良い状態で生活させる。
4. 動物に人と同等の権利を認め一切の利用を否定する。
5. 動物の疾患の予防と治療を徹底する。

問3 獣医師が飼い主に動物の安楽死をすすめる際に決定要因となるのはどれか。

1. 動物が治癒に時間がかかる疾患にかかった。
2. 動物が激しい痛みで苦しんでいる。
3. 経済的理由でこれ以上動物を治療できない。
4. 動物を飼育できない家へ転居する。
5. 動物が増えすぎたので数を減らしたい。

問4 慢性疾患のため毎週通院してくる犬の飼い主に、インターネットで見つけた最新の治療法を試してほしいと依頼された。その治療法を紹介している獣医師は遠方の動物病院で診療をしているため、この飼い主が受診のために犬を連れていくことは難しいという。治療を依頼された獣医師がまずとるべき対応として適切でないのはどれか。

1. その治療法の内容を確認せずに、実施できないとその場で断る。
2. その治療法について知り合いの獣医師に尋ねる。
3. その治療法について自身でもインターネットで調べる。
4. 自分が治療することが可能かその獣医師に問い合わせる。
5. 往診が可能かその獣医師に問い合わせる。

問5 雄猫3頭と雌猫10頭を動物飼育禁止の集合住宅で飼っている飼い主が、このうちの1歳の雄猫の去勢手術のために来院した。現在雌猫のうちの2頭が妊娠中であるという。獣医師として適切でない対応はどれか。

1. この飼い主が飼育している猫の健康状態を入念にチェックする。
2. 飼い主が飼育による近隣とのトラブルを抱えていないか行政に確認する。
3. 飼育環境や他の猫の様子を聞き問題があれば指導をする。
4. 病院で預かっている飼い主のいない猫の飼育を依頼する。
5. 飼い主に他の猫についても早急に去勢・避妊手術をするよう勧める。

問6 虐待を受けたと思われる犬を診察した獣医師の対応として適切なのはどれか。

1. 飼い主を問い詰める。
2. 苦痛から解放するため安楽死する。
3. 都道府県や警察に通報する。
4. 飼い主に無断で保護施設に引き渡す。
5. 虐待の証拠を見つけ出し告発する。

問7 動物実験における倫理的配慮として適切なのはどれか。

1. 安価な実験方法で行う。
2. できる限り生きた動物を用いる。
3. 必要最小限の動物を使用する。
4. 実験中は動物が怪我をしても治療しない。
5. 実験中は安楽死を行わない。

問8 「獣医師法」に規定されていないのはどれか。

1. 応召義務（診療に応じる義務）
2. 飼育動物の保健衛生の向上に必要な事項の指導義務
3. 診療簿保存義務
4. 診断書交付義務
5. 野生動物の救護義務

問9 「獣医師法」第22条で定める獣医師の氏名、住所、その他の事項の届出は何年ごとに行わなければならないか。

1. 1年
2. 2年
3. 3年
4. 5年
5. 10年

問10 獣医師のみが診療を業務として行える動物はどれか。

1. オウム科全種
2. 魚類
3. は虫類
4. ウサギ
5. ミンク

問11 獣医師のみが受けることができる任用資格はどれか。

1. 食品衛生監視員
2. 薬事監視員
3. 環境衛生指導員
4. 食鳥検査員
5. 毒物劇物監視員

問12 平成26年12月31日現在の我が国の獣医師数に最も近いのはどれか。獣医師数は「獣医師法」第22条に基づく届出者総数とする。

1. 1万人
2. 4万人
3. 8万人
4. 15万人
5. 30万人

問13 「動物の愛護及び管理に関する法律」に定められている内容として正しいのはどれか。

1. 動物の科学上の利用は禁じられている。
2. 飼い主のいない犬は愛護動物には含まれない。
3. 動物取扱責任者は獣医師に限られる。
4. 十分な餌や水を与えずに衰弱させる行為は虐待に当たる。
5. 産業動物に対する虐待や遺棄には罰則がない。

問14 「と畜場法」においてと畜検査の対象でない動物はどれか。

1. 牛
2. 馬
3. 豚
4. 山羊
5. イノシシ

問15 「狂犬病予防法」を所管しているのはどれか。

1. 厚生労働省
2. 農林水産省
3. 環境省
4. 経済産業省
5. 内閣府

問16 食品の国際規格を定めるのはどれか。

1. 国際獣疫事務局（OIE）
2. 国連世界食糧計画（WFP）
3. 国連食糧農業機関（FAO）
4. 世界貿易機関（WTO）
5. コーデックス委員会（CAC）

問17 叢毛胎盤をもつ動物はどれか。

1. 牛
2. 馬
3. 豚
4. 犬
5. 猫

問18 平滑筋からなるものはどれか。

1. 立毛筋
2. 横隔膜筋部
3. 肋間筋
4. 心筋
5. 固有舌筋

問19 下垂体前葉が分泌するホルモンはどれか。

1. アンドロジェン
2. 性腺刺激ホルモン放出ホルモン (GnRH)
3. プロラクチン
4. オキシトシン
5. インヒビン

問20 一次能動輸送を構成するのはどれか。

1. Na^+ チャネル
2. Na^+ - K^+ ポンプ
3. Na^+ - K^+ - 2Cl^- 共輸送体
4. Na^+ - H^+ アンチポーター
5. アクアポリン

問21 生体膜内外のプロトン勾配を利用して ATP 合成を行うのはどれか。

1. ゴルジ複合体
2. ミトコンドリア
3. 小胞体
4. リソソーム
5. リボソーム

問22 細胞内情報伝達のセカンドメッセンジャーとして機能するのはどれか。

1. Gタンパク質
2. リン酸
3. トリアシルグリセロール
4. 二酸化窒素
5. cAMP

問23 「麻薬及び向精神薬取締法」に基づき麻薬に指定されている薬はどれか。

1. ペンタゾシン
2. ジアゼパム
3. ブトルファノール
4. ケタミン
5. ブプレノルフィン

問24 有機リン系殺虫薬はどれか。

1. プラリドキシム
2. アレスリン
3. ジクロルボス
4. オフロキサシン
5. クロチアニジン

問25 亜急性脊髄視神経症（SMON）の原因物質はどれか。

1. キノホルム
2. サリドマイド
3. ソリブジン
4. ストレプトマイシン
5. クロロキン

問26 類上皮細胞の由来はどれか。

1. 好中球
2. 好酸球
3. リンパ球
4. 形質細胞
5. マクロファージ

問27 悪性上皮性腫瘍はどれか。

1. 脂肪腫
2. 血管肉腫
3. 甲状腺腫
4. 乳腺癌
5. 脾腫

問28 エンベロープをもたないウイルスはどれか。

1. 口蹄疫ウイルス
2. ニューカッスル病ウイルス
3. 鳥インフルエンザウイルス
4. 豚コレラウイルス
5. ウエストナイルウイルス

問29 DNA ウイルスはどれか。

1. ニューカッスル病ウイルス
2. 伝染性気管支炎ウイルス
3. 伝染性胃腸炎ウイルス
4. 豚流行性下痢ウイルス
5. 豚サーコウイルス

問30 抗体産生細胞はどれか。

1. 好中球
2. ヘルパー T 細胞
3. NK 細胞
4. 形質細胞
5. キラー T 細胞

問31 ニワトリヌカカによって媒介される家きんの感染症はどれか。

1. ニューカッスル病
2. 鶏脳脊髄炎
3. 封入体肝炎
4. 伝染性コリーザ
5. ロイコチトゾーン症

問32 ウサギのククシジウムはどれか。

1. *Eimeria tenella*
2. *Eimeria stiedai*
3. *Eimeria necatrix*
4. *Eimeria maxima*
5. *Eimeria ovina*

問33 吸虫の発育環でないのはどれか。

1. ミラシジウム
2. レジア
3. スポロゾイト
4. セルカリア
5. スポロシスト

問34 食中毒を起こす細菌はどれか。

1. ペスト菌
2. リステリア菌
3. 豚丹毒菌
4. ジフテリア菌
5. 結核菌

問35 細菌性人獣共通感染症はどれか。

1. 腎症候性出血熱
2. 黄熱
3. パスツレラ症
4. リーシュマニア症
5. ヒストプラズマ症

問36 「環境基本法」の定義における「公害」(典型7公害)に含まれないのはどれか。

1. 地盤の沈下
2. 振動
3. 悪臭
4. 廃棄物問題
5. 騒音

問37 「飼養衛生管理基準」が策定されているのはどれか。

1. みつばち
2. 馬
3. 犬
4. 猫
5. ウサギ

問38 症例対照研究について正しいのはどれか。

1. コホート研究より時間と費用を要する。
2. 前向き研究である。
3. 寄与リスクを算出できる。
4. 暴露状態が正確にわかる。
5. オッズ比を用いる。

問39 ハイイツ小体が出現する血球はどれか。

1. 赤血球
2. 好中球
3. リンパ球
4. 単球
5. 血小板

問40 犬と猫の体表からの超音波検査で正常な臓器構造の描出が難しいのはどれか。

1. 心臓
2. 肺
3. 眼球
4. 腎臓
5. 脾臓

問41 牛、馬、豚、羊において、欠乏により白筋症を引き起こすビタミンはどれか。

1. ビタミン A
2. ビタミン B₁
3. ビタミン K
4. ビタミン D
5. ビタミン E

問42 「獣医療法施行規則」に記載された放射線診療従事者等の一年間の実効線量の被ばく線量限度（男性）として正しいのはどれか。

1. 1 ミリシーベルト
2. 10 ミリシーベルト
3. 50 ミリシーベルト
4. 100 ミリシーベルト
5. 1 シーベルト

問43 測定過大（測定障害）は主にどの部位の病変によって生じるか。

1. 大脳
2. 間脳
3. 脳幹
4. 小脳
5. 脊髄

問44 レッグペルテス病に関する記述として適当なのはどれか。

1. 大型犬に発生が多い。
2. 通常両側性に発生する。
3. 跛行症状が認められることはまれである。
4. 大腿骨近位骨端への血液供給障害が原因となる。
5. 大部分の症例が内科的保存療法で治癒する。

問45 合成非吸収性縫合糸の材料はどれか。

1. ポリプロピレン
2. 絹糸
3. ポリジオキサノン
4. カットグット
5. ポリグリコネート

問46 長日季節繁殖動物はどれか。

1. 馬
2. 牛
3. 豚
4. 犬
5. ラット

問47 豚の妊娠期間として適当なのはどれか。

1. 約 60 日
2. 約 115 日
3. 約 150 日
4. 約 280 日
5. 約 330 日

問48 胚盤胞の内部細胞塊から樹立される細胞はどれか。

1. B 細胞
2. CHO 細胞
3. NK 細胞
4. HeLa 細胞
5. ES 細胞

問49 魚類の鰓の機能はどれか。

1. 消化
2. 浸透圧調整
3. 浮力調整
4. 聴覚
5. 造血

問50 〔図1〕は犬の右側傍胸骨心基部短軸心エコー像である。*はどの部位か。

1. 主肺動脈
2. 大動脈
3. 左心房
4. 右心房
5. 右心室

